

現代アートの芸術祭 『六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond』

夜間限定作品等を鑑賞できる「ひかりの森～夜の芸術散歩～」

9月23日（土・祝）～11月23日（木・祝）開催

一般財団法人神戸観光局（所在地：神戸市中央区）は、2023年8月26日（土）から開催している、「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond」（主催：六甲山観光株式会社 本社：神戸市）の関連イベントとしてROKKO森の音ミュージアムと六甲高山植物園にて、9月23日（土・祝）から11月23日（木・祝）までの土日祝日限定で夜間営業を行い、自然の中で夜間限定作品等を鑑賞できる「ひかりの森～夜の芸術散歩～」を開催することをお知らせいたします。



写真：伊丹豪/ロゴマーク：佐貴絢都/アートディレクション：芝野健太（株式会社ライブアートボックス）

「六甲ミーツ・アート芸術散歩」は、神戸・六甲山上で2010年から毎年開催してきましたが、14回目を迎える今年、招待アーティストの拡充や芸術祭の象徴となる拠点づくり・一部作品の展示期間の延長、各会場を繋ぐトレイル（遊歩道・山道など）沿いへのアート作品展示を行うなどの新施策により内容を大幅に拡充しております。

『六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond』開催概要

【会期】

2022年8月26日（土）から11月23日（木・祝）

※会期中無休

※ただし六甲山サイレンスリゾートのみ8月～10月の毎週月曜日休業
（月曜祝日の場合は火曜に振替休業）

【開催時間】

10:00～17:00

※会場により一部異なります。

【会場】

ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園、六甲ガーデンテラスエリア、六甲ケーブル（六甲ケーブル下駅・山上駅・天覧台）、トレイルエリア、風の教会エリア、六甲有馬ロープウェー六甲山頂駅、兵庫県立六甲山ビクターセンター（記念碑台）、六甲山サイレンスリゾート（旧六甲山ホテル）

【公式ホームページ】

六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond

<https://www.rokkomeetsart.jp/>

自然の中で夜間限定作品等を鑑賞できる「ひかりの森～夜の芸術散歩～」

ROKKO 森の音ミュージアムと六甲高山植物園では、9月23日（土・祝）から11月23日（木・祝）までの土日祝日限定で夜間営業を行い、自然の中で夜間限定作品等を鑑賞できる「ひかりの森～夜の芸術散歩～」を開催します。光や映像を使った作品を展開しているアーティスト、高（※1）橋匡太による体験型アート作品や、「時間・記憶」などをテーマに作品を制作している赤坂有芽による映像作品を展示します。このほか、両施設のアート作品をライトアップして展示します。

■高（※1）橋匡太《ひかりの実 in SIKI ガーデン》ROKKO 森の音ミュージアム



高橋匡太《ひかりの実 in SIKIガーデン》六甲ミーツ・アート芸術散歩2022

本作品は笑顔が描かれた果実袋の中に、LED の小さな光を入れて木々に取り付け、あたたかな夜景を作り出します。今年は神戸市内の小中学生などが参加し約 5,000 の《ひかりの実》を会期を分けて 2,500 ずつ展示します。一人ひとりが参加することによって夜景が作られ、沢山の笑顔と癒やしの風景を創る展示作品です。エリア内を音楽家 mica bando 作曲による、やさしいハーモニーの音楽が満たしてあたたかな光と音に包まれる空間を作ります。

■高（※1）橋匡太《キラ★キラ★キラリー～夜の絵具を探せ！～》六甲高山植物園



高橋匡太《キラ★キラ★キラリー～夜の絵具を探せ！～》六甲ミーツ・アート芸術散歩2022 撮影：高嶋清俊

本作品は、来園者が園内を巡って、キラキラ光る色のかげらを集める体験型のアート作品です。園内にある5箇所の「光の泉」(写真(1))を全て周り、ゴール地点(写真(2))へ行くと、光と音楽(mica bando作曲)の特別な演出(写真(3))が鑑賞できます。来園者が能動的に作品に関わることで、より印象的な体験ができる作品です。小さなお子様を含めた幅広い世代の方にお楽しみいただけます。

高(※1) 橋匡太(たかはしきょうた)



<経歴>

1970年 京都府生まれ・在住

1995年 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

光や映像によるパブリックプロジェクション、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。京都市京セラ美術館、東京駅100周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物へのライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたね」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

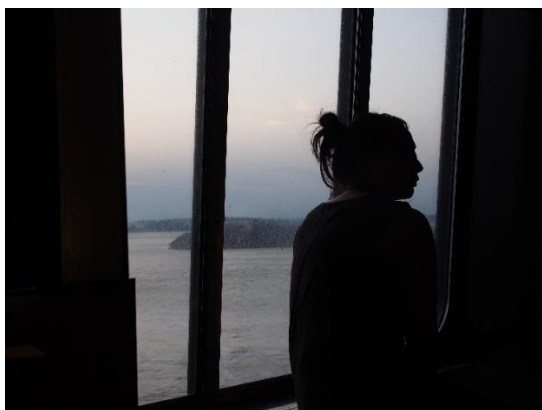
■ 赤坂有芽「柔らかな外皮」六甲高山植物園

「時間・記憶」などをテーマに作品を制作している赤坂有芽が夜の六甲高山植物園に浮かび上がる映像インスタレーションを展開します。



《stories - House -》瀬戸内国際芸術祭2016/小豆島

赤坂有芽(あかさかゆめ)



<経歴>

1985年 東京都生まれ

2009年 東京藝術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 修了

「時間・記憶・アニミズム」をテーマにリサーチを行い、そこから得たイメージやドローイング等の素材をもとに映像やビデオインスタレーションを制作している。主な活動に、Katsurao AIR 参加（福島県葛尾村/2022）、個展「△と布置」（ASK? art space kimura/東京/2021）、瀬戸内国際芸術祭（小豆島/香川/2013,2016）、六甲ミーツ・アート芸術散歩（六甲山/兵庫/2012,2017）、群馬青年ビエンナーレ（群馬県立近代美術館/群馬/2008,2010）、小豆島アーティストインレジデンス in Spring（小豆島/香川/2010）など。

【開催日時】

9月23日(土・祝)～11月23日(木・祝)の土日祝

17:00～20:00(19:30 最終入場)

【場所】

ROKKO 森の音ミュージアム、六甲高山植物園

(※1) 高ははしごだか

■ 本件に関するお問い合わせ

問い合わせ先：六甲山観光株式会社

六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 beyond 事務局

TEL：078-891-0048(10:00～17:00)